

違い
その1

違和感 (薄さ)

違和感が少ない

プラスチック床の入れ歯は、強度を保つため、**厚く**製作する必要があります。これが大きな違和感の原因です。

金属床なら**薄くて丈夫な**入れ歯が作れるので、違和感も最小限にすることが可能です。

金属床なら薄くて丈夫

金属床はプラスチック床より違和感が少なくなります



違い
その2

安定性 (よく噛める)

しっかり噛める

プラスチック床は強く噛むとたわんでしまいます。さらに長期間の使用により少しずつ**変形**し、徐々に噛めなくなってきました。

金属床なら、**たわみや変形も少ない**ので、しっかりと**安定した噛み心地**になります。

プラスチックの変形 (半年間使用後)

半年使用した入れ歯を後ろから見ると...



製作当初はぴったりでも半年程度でこのような隙間ができてしまうこともあります。プラスチックは変形したり、たわみやすいためしっかりと噛めないばかりか痛みがでることも...

違い
その3

温かさ・冷たさを感じる

熱が伝わる

上あごをおおう入れ歯の場合、プラスチック床では温かいものや冷たいものを食べても熱を感じにくくなります。

たとえば、温かいお茶を飲んでも、上あごはその温かさをあまり感じることができません。

その点、金属床は熱の伝導にも優れているので、食べ物の温かさや冷たさをしっかりと感じることができます。

金属床なら食事もおいしい



入れ歯に使用する素材

金属床

入れ歯の床にコバルトクロムやチタンなどを使用したものです。精度が高く、厚みも薄く作ることができます。

プラスチック床

健康保険が利用できます。強度を保つため、厚く作る必要があります。変形しやすく、割れてしまうこともあります。

入れ歯を金属床で

作成する際の注意事項

- ① 入れ歯の作成には、しっかりと作るためにある程度の期間がかかります。
- ② 金属床入れ歯には健康保険が利用できません
- ③ 金属床入れ歯は医療費控除の対象になります。

治療方法、回数・期間など、詳しい治療内容につきましては、いつでも歯科医師、スタッフにお気軽にお声をかけてください。